

# 市民参加で大阪にもっと魅力を 大阪21世紀協会の文化活動

大阪21世紀協会は、行政や市民、NPOなど、さまざまな分野の人や団体とのコラボレーションにより、新しい市民文化の創出に向け活動しています。ここでは、今年夏から秋にかけて、大阪21世紀協会が主催・参画した文化イベントの一部をご紹介します。

## 大阪城新橋ライトアップ

平成20年7月26日～30日

在阪のマスコミや経済界、大阪府・市などによるコラボレーションイベント「大阪城サマーフェスティバル(実行委員長・堀井良殿大阪21世紀協会理事長)」の開催に合わせ、大阪城とOBPエリアを結ぶ「大阪城新橋」をライトアップしました。欄干や水面にLEDの照明が映え、水の都大阪とフェスティバルを一層美しくアピールしました。



## 720アワード@pamo2007 グランプリ受賞記念公演

平成20年9月6日/OBP円形ホール

独創的なパフォーマンス文化を大阪から内外に発信しようと、720という定められた枠のなかで、ダンスなどのパフォーマンスを競う「720アワード」。今年は、昨年度グランプリを受賞したコンテンツラリーダンスグループ「contact Gonzo」による“おごそかな殴り合い”の記念公演が行われました。格闘技系の激しいダンスが披露されると、会場に張り詰めた緊張感が漂いました。



## インターナショナル ワークショップフェスティバル 100DOORS

平成20年8月1日～10日  
大阪市中央公会堂、芝川ビル、大阪市立芸術創造館

「文化は人が創る」をコンセプトに、体験を通して世代・ジャンル・国境を越えた人々が、自ら進んで明日の大阪の扉(DOOR)を開けようと呼びかけられた「100DOORS」。演劇、ダンス、古典芸能、楽器演奏、着付け、アート、メイク、英会話など、バラエティ豊かな体験講座が大阪市内3か所で行われ、子どもから大人まで多くの人々が参加しました。昨年度は38講座でしたが、好評につき今年は100講座。参加費をすべてワンコイン(500円)に設定したことも話題となり、テレビや新聞でも大きく報道されました。また本企画は、各界のエキスパートである講師陣と、それぞれの講座のとりまとめ役であるワークショップ・コーディネーター、そして事務局の二人三脚で運営されました。今後も関西独自の「おもろい」や「こだわり」をキーワードに、学術的に解釈されがちな芸術や文化を、より身近に楽しめる市民参加型フェスティバルへと育てていきます。



十二単の着付け公開と試着体験 / 榎村寛之ほか(斎宮歴史博物館ほか)



吉野和紙あかり作り / 坂本尚世(あかり工房 吉野)

## 大阪文化祭賞贈呈式

平成20年9月2日/大阪府公館

大阪21世紀協会は、大阪の芸術文化活動の奨励と普及を図る目的で、昭和38年より実施している大阪文化祭を平成13年から大阪府・大阪市と共催しています。所定の期間中に大阪府内で行われる公演などを対象に、とくに注目すべき成果をあげた人や団体には、大阪文化祭賞(グランプリ、奨励賞など)を贈呈。今年は5～6月の2か月間で、伝統芸能や現代演劇、洋舞、洋楽など、幅広いジャンルから78の公演参加があり、そのなかからグランプリ1件、奨励賞7件を贈呈しました。



## 第3回 御堂筋学生音楽祭

平成20年9月13日～15日 /  
大阪府立青少年会館、とんぼりリバーウォーク、  
amHALL、CLUB SAOMAI

文化創造にたずさわる学生が大阪には多く存在することをアピールする目的で、2006年から始めた音楽イベント。毎年、大阪を中心とした関西圏の大学生を核に、多くの学生が自ら企画・準備して進めています。今年は第3回を迎え、「つなげる。～City(OSAKA)×Student×Music～」をテーマに、音楽を通して大阪のまちの活性化とイメージアップを試み、あらゆる人・モノをつなげていこうと開催されました。また、「御堂筋学生音楽祭ベストアルバムCD制作」や「とんぼりウォークでカフェ出店とライブ」など、学生自身によるユニークな企画も実施され、音楽が大好きな関西の学生パワーをアピールしました。

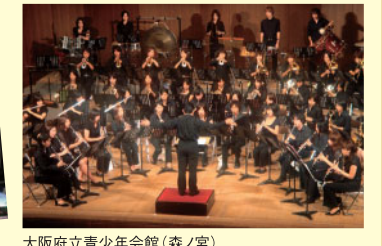
第3回御堂筋学生音楽祭実行委員会構成メンバー  
大阪大学、大阪市立大学、大阪音楽大学、相愛大学、  
関西学院大学、大阪モード学園、大阪21世紀協会(事務局)



とんぼりリバーウォーク(道頓堀)



am HALL(梅田)



大阪府立青少年会館(森ノ宮)

## アートストリーム2008 イン サントリーミュージアム [天保山]

平成20年11月2日～3日 /  
サントリーミュージアム [天保山]

関西を中心に活動している若手アーティストに、作品発表と業界関係者との出会いの場を提供するアートイベントとして2003年にスタート。このイベントでは、毎年出展者を対象に、大阪21世紀協会賞をはじめとするアワードを贈呈しており、その受賞者のなかからメジャーデビューしたアーティストも多くいます。例えば2004年に同賞を受賞した舟田潤子さんは、06年に池田寿夫大賞を受賞。大学卒業と同時にプロの銅版画家としてデビューを果たしました。また2006年に大阪21世紀協会賞を受賞したH@L(ハル)さんは、その後、第24回ニッサン童話と絵本のグランプリで絵本部門の大賞を受賞するなど、多くの若者が国内外に活躍の場を広げています。出展者のレベルは高く、08年度は多数の応募者の中から、104組が出展(アートマーケット97組、2DAYペインティング4組、ステージペインティング3組)。全員プロを目指している人ばかりで、今年は4割が新しい顔ぶれです。業界内では新しい才能を発掘する場としてすでに認知されており、アワードはプロへの登竜門にもなっています。



会場風景



H@Lさん(アクリル画)のブース



2008年度大阪21世紀協会賞を受賞したヨウタケルさん(1978年大阪生まれ/イラストレーター)。「4年前、アートストリームリバープレイス(湊町)に3人グループで出展し、テナントギャラリア賞を受賞。すごく励みになり、広告や書籍などの仕事依頼もぐんと増えました。個人での受賞は今回が初めてなので、とても嬉しい。現在、東京での仕事が多いのですが、目指すは世界。ニューヨークで個展を開くのが目標です」



公募アーティストが2日間で仕上げる [2DAYペインティング]

※写真はすべて今年度のものです。